

県内総合

建設情報*Iwate*

屋根防水とエアコン設置

役場庁舎の改修 8月の入札を目指す

九戸村

九戸村は、庁舎の老朽化対策と役場利用者の利便性向上に向けて、役場庁舎の屋根改修とエアコン設置を計画。一般会計の第1号補正予算に工事請負費として6億7992万円を計上した。いずれも8月中の入札を予定している。

同村伊保内第10地割11～6地内にある役場庁舎は、1982年の築。村役場と保健センターを含み、施設規模は鉄筋コンクリート造4階建てで延べ床面積は3167.08平方

米。築40年以上が経過し老朽化が進行しており、庁舎内の多くの箇所

で雨漏りが確認されていることから、屋根の防水改修を実施する。また江刺家と戸田の支所にはエアコンが設置済みであるが、本庁舎にはエ

アコンが未設置。近年の猛暑の極端化と長期化を踏まえ、役場庁舎を訪れる村民の利便性と快適性を向上させるとともに、職員や議員の職務環境改善を図るためエアコン設置を行う。

屋根改修とエアコン設置に係る設計業務は、大畑建築設計が担当した。村では一般会計の第1号補正予算に工事請負費として6億7992万円を計上。屋根改修、エアコン設置ともに8月中の入札を予定している。



現在の九戸村役場

福山コンサルタントに決定

プロポで選定 地域公共交通計画の策定

洋野町

洋野町は、「洋野町地域公共交通計画策定業務」の公募型プロポーザルを実施した結果、福山コンサルタントを優先交渉権者に決定した。同業務では、交通実態や課題などを把握し、地域公共交通計画を策定する。業務対象範囲は町内全域で、委託期間は2027年3月15日までを予定している。

同業務では、人口減少の進行など、公共交通を取り巻く環境が変化していることから、地域特性を踏まえた持続可能な交通体系の再構築に向けて、交通実態や課題、町民ニーズを把握。公共交通の将来像を明確化するとともに、関係主体の役割や施策を整理し、まちづくり関連計画との整合を図りながら、同町地域公共交通計画を策定する。同交通計画の計画期間は、27年

度から31年度までの5年間とする。同業務では、①同町および公共交通の現況整理に関する調査②移動実態や公共交通事業者の運行課題の把握③公共交通を取り巻く課題の整理④基本方針・目標指針・施策の検討⑤交通計画(案)の取りまとめなどを実施する。

①では、地域特性をはじめ、路線別の運行状況や利用者数などに関する既存データを整理。同町総合計画などの上位・関連計画における公共交通の位置付けや、関連性などを整理する。

②では、町民の日常生活における移動実態や公共交通の利用状況、問題点などを把握するため、公共交通の満足度や、期待する役割、改善内容、維持に要する費用の負担のあり方、意見などに関するアンケート調査の立案、調査票

の作成、調査の実施、結果の集計・分析を行う。アンケート調査の対象者数や調査項目などは、受注者の知見などにより提案することとしている。

さらには、公共交通の運行に関わる運行事業者などを対象にヒアリング調査を実施し、公共交通の現状と課題、利用者・町民の意見把握する。町営バスの利用者に関する調査などを実施し、必要に応じて便別・バス停留所別の乗降客数の集計・分析を行う。

③では、運営面、サービス面、運行システム面、まちづくりとの連携などの公共交通を取り巻く課題を整理。

④のうち、基本方針の検討としては、人口減少や高齢化の進行などにより生じている公共交通の課題を整理し、同町における公共交通の将来像を基本方針として設定する。公共交通が果たすべき役割を明確化し、今後の取り組みの方向性を検討していく。

目標指針の検討としては、基本方針の実現に向け、計画期間を見据えた基本目標を設定するとともに、進捗よくや効果を評価するため、指標およびKPIを検討する。目標の設定理由や目標年次を整理し、目標指針を取りまとめる。

施策の検討としては、基本方針および目標指針に基づき、地域特性や課題を踏まえた具体的な施策・事業を検討する。路線や運行形態の見直し、利用促進策など、施策の方向性や選択肢を整理し、交通計画(案)の検討につなげる

こととしている。各種検討の結果を踏まえ、対応方針や具体的な施策などを整理し、交通計画(案)を作成する。合わせて交通計画全体の構成や内容を整理し、関係者協議などに資する計画(案)を作成する。

このほか、今回の業務には、各種会議の開催支援なども委託内容に盛り込まれている。

提案上限額は、900万円(消費税および地方消費税相当額を含む)と設定されていた。

林道の桐木橋を補修 ＝一関市・制限付で公告中＝ 長寿命化計画に基づき

一関市は、室根町の林道桐木線の桐木橋について補修を計画する。林道施設長寿命化修繕計画に基づき実施するもので、今月の制限付一般競争で工事が公告中とな

っている。

桐木橋は、室根町津谷川字葛ヶ沢地内に位置。5.30延で、1970年に架設された橋となっている。

市の林道施設長寿命化修繕計画については、19年度に市内の林道に係る15橋について点検するなどして策定。19年度には、橋長15延未満9橋、橋長15延以上6橋について点検したもので、林野庁インフラ長寿命化計画(行動計画)に係る個別施設計画作成に当たり、林道橋の定期点検と診断を実施した。

加えて、林道橋の経済的な管理を計画的に実施するため、今後高齢化する橋梁に対し、従来の事後的な維持管理ではなく予防的な修繕を実施できるよう、点検が完了した橋梁について、点検や健全性診断結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を策定。修繕コストの削減と橋梁の長寿命化を図っていくこととしている。

今回の桐木橋の補修工事は、施工延長6.0延で、道路土工一式、橋梁補修工一式、仮設工一式を内

容とする。工期は162日間。

橋梁補修については、上部工の主桁で断面修復工(左官工)、ひび割れ補修工(注工、補填工)、表面保護工(表面含浸工)、水切り工(FRP水切り工)を行う。下部工の橋台では、断面修復工(左官工)、基礎洗掘対策工(底張りコンクリート)を実施。袖擁壁での基礎洗掘対策工(コンクリート補填工、底張りコンクリート)も進める。

東開技術が流雪溝 取水方式の検討を

＝県花巻審査指導監＝

県南広域振興局花巻審査指導監は、条件付一般競争により「一般国道107号竪川目地区流雪溝取水方式検討業務委託」を入札した結果、東開技術が526万円で落札した。

業務対象地域は、北上市和賀町竪川目地内。一般国道107号竪川目地区において、冬期間の安全で

快適な空間確保のために、老朽化に伴う流雪溝揚水機械設備の現況評価を行い、取水方式の検討を行うもの。

対象施設の施設名は3号井で、構造形式は揚水井。委託予定期間は143日間となっている。

業務内容は、計画準備や路線測量、流雪溝用揚水機械設備調査、流雪溝概略設計。

流雪溝用揚水機械設備調査では、揚水機械設備調査について立地環境や交通状況、通行規制の要否、近接手段などを確認し、調査計画書を作成。既設揚水機械設備を引揚、各設備の点検、揚水機械据付を行う。

流雪溝概略設計では、路線測量成果をもとに既設導水路の位置や断面を調査。取水施設方式の検討資料として、既設取水源の既往資料を収集し、その内容を整理・把握し、既設揚水井の引揚調査と導水路調査結果を踏まえ、既設揚水井を改修する案と新たに取水源を設置した案の比較検討を行い、最適な取水方式を検討する。

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える

新たな防災気象情報で命を守る －危険度を知り、早めの避難行動へ－

岩手大学理工学部理工学科教授

小笠原 敏記



令和8年5月29日から、気象庁は「新たな防災気象情報」の運用を開始した。運用開始から約2カ月が経過し、新しい情報体系にも少しずつ慣れてきた頃である。しかし、災害はいつ発生するかわからない。いざという時に自分や家族の命を守るためには、防災気象情報の意味を正しく理解し、適切な行動につなげることが重要である。

今回の見直しによる大きな変更点の一つは、情報名に警戒レベルが示されるようになったことである。「レベル2：注意報」「レベル3：警報」「レベル4：危険警報」「レベル5：特別警報」のように、情報を見ただけで災害の危険度を把握しやすくなった。

二つ目は、対象となる災害が整理されたことである。新たな防災気象情報では、「河川氾濫」「大雨」「土砂災害」「高潮」の4種類の災害について、それぞれの危険度に応じた情報が発表される。

三つ目は、気象庁などが発表する情報と、住民がとるべき行動との関係が明確になったことである。例えば、「レベル4：危険警報」が発表された場合は、危険な場所にいる人は全員避難することが基本となる。一方、「レベル5：特別警報」は、すでに災害が発生している、または発生が切迫している可能性が高い状況を示す。この段階では安全な避難が難しい場合もあるため、その場で命を守るための最善の行動を取ることが求められる。

特に注意したいのが河川氾濫である。河川の危

険度の伝え方は、河川の種類によって異なる。洪水予報河川(国や都道府県が水位を常時監視している河川)では、河川の水位や雨の状況を基に、気象庁と河川管理者が共同で洪水予報を発表する。これにより、河川の危険度を早い段階から把握することができる。

一方、洪水予報河川以外の河川では、洪水予報が発表されない場合がある。その場合は、大雨警報や危険度分布(キキクル)、自治体からの避難情報などを確認し、自ら危険を判断することが必要である。特に中小河川では、短時間の大雨によって急激に水位が上昇することがあり、「情報が発表されていないから安全」とは限らない。

近年、全国各地で集中豪雨による河川氾濫や浸水被害が発生している。防災気象情報は、単に災害の危険を知らせるものではなく、私たちが「いつ、どのような行動を取るべきか」を判断するための重要な情報である。

皆さんは、いざという時に備えて、自宅周辺の危険箇所や避難場所、避難経路を確認しているだろうか。災害はいつ発生するかわからない。日頃から防災気象情報の意味を理解し、早めの避難行動につなげる準備をしておくことが、自分自身や大切な人の命を守ることにつながるのではないだろうか。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

建設測量システム展

測量から施工・維持管理まで、DXで進化する建設現場の未来がここに

抽選会あり



ケータリングあり



入場無料

日時 2026年9月2日(水)、3日(木)

時間 ■2日 9:00～16:00 ■3日 9:00～15:30

開場 盛岡地区勤労者共同福祉センター | ●大ホール ●野外展示場

主催 (株)岩手測器社、(株)建測システムサポート

共催 一般社団法人 日本建設機械施工協会 東北支部

内容 MC/MG体験会、各種セミナー

セミナーの参加にはお申し込みが必要です。弊社ホームページをご覧ください。

お問い合わせ
せはコチラ



株式会社 岩手測器社

TEL:019-613-2387 / FAX:019-613-2386

E-mail: k_sakura@iwatesokkisya.com

受付時間: 平日8:30～17:30 展示会については「佐倉」まで
時間外のお問い合わせには翌営業時間にご連絡します

□会場: 盛岡地区勤労者協同福祉センター 大ホール
□住所: 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南1-2-7
□TEL: 019-638-1302
□http://www.morioka-oroshi.jp

※駐車場に限りがある為、乗り合いでのご来場にご協力ください

参加メーカー(50音順)

アイサンテクノロジー(株)	(株)アカサカテック	(株)イメージワン	(株)岩崎	(株)快適空間FC
(株)建設システム	(株)神戸精光	(株)コンピュータシステム研究所	(株)ジェノバ	(株)大平産業
東亜リース(株)	(株)トップコンソキアポジションングジャパン	日本キャタピラー合同会社	(株)ビーイング	日立建機日本(株)
福井コンピュータ(株)	福井コンピュータアーキテクト(株)	富士フイルムビジネスソリューションジャパン(株)	(株)ホーシン	(株)ほくとう
(株)マブリィ	ライカジオシステムズ(株)	リーグルジャパン(株)	(株)リペアワークス 梅田土建(株)	レフィクシア(株)
DataLabs(株)	(株)EARTHBRAIN	(株)FLIGHTS	(株)NTジオテックス	TerraDrone(株)

- 展示会のみのご来場に事前のお申し込みは必要ありませんが、必ず 入り口にて受付をしてください。その際 お名前と会社名等が分かるものをご提出いただきます。名札用と2枚、名刺をご持参ください。
 - 詳細は弊社ホームページからもご確認ください。 『 <https://www.iwatesokkisya.com/> 』
- セミナーの申し込み用紙もダウンロードできますのでご活用ください。